

BSI グループジャパン（英国規格協会）
日本初となる ISO 19650 に基づいた BIM BSI Kitemark を大和ハウス工業に認証

BSI グループジャパン株式会社(横浜市西区みなとみらい、代表取締役社長：根本 英雄、以下 BSI ジャパン)は、大和ハウス工業株式会社(大阪市北区梅田、代表取締役社長：芳井 敬一、以下 大和ハウス工業)に対し、日本初となる ISO 19650-1^{※1} および ISO 19650-2^{※1} に基づいた「設計と建設のための BIM BSI Kitemark（カイトマーク）」を認証しました。(認証登録日：2021年2月11日)

昨今、建設業界におけるデジタル化が急速に進んでいます。プロジェクトの開始から建設物の廃棄までのプロセスを、ビッグデータや IoT、クラウド、BIM（ビルディングインフォメーションモデリング）などを駆使して、効率的に管理する手法が取り入れられ始めています。

BIM は、デジタルモデリングを使用して、初期設計から建設、保守、最終的に廃棄に至るまで、建設資産のライフサイクル全体にわたる情報管理の仕組みです。3次元の仮想建設環境（共通データ環境）において、エンジニアや所有者、建築家、請負業者間とのコラボレーションを可能にし、効率的な情報共有ができます。

ISO 19650 は、BIM を使用して建設された資産のライフサイクル全体にわたって情報管理を行うための国際規格です。BIM レベル 2^{※2}と同様の原則と高レベルの要件がすべて含まれ、本 ISO の前身となる PAS 1192 規格と密接に連携しています。本要件を満たしていることを証明することは、成熟した BIM の導入を示すことになります。

BSI ジャパンでは、BSI Kitemark 認証及び検証サービスの提供によって、お客様の BIM 成熟度を証明するサービスを展開しており、大和ハウス工業による BIM BSI Kitemark 認証は、今回日本初となります。

詳しくは BSI ジャパンの web サイトをご覧ください。

<https://www.bsigroup.com/ja-JP/Building-Information-Modelling-BIM-ISO19650/>

- 注記 -

※1:ISO 19650 は、BIM を含む、建築及び土木工事に関する情報の統合及びデジタル化

ISO 19650-1:2018 は、BIM を使用した情報マネジメント：概念及び原則

ISO 19650-2:2018 は、BIM を使用した情報マネジメント：資産のデリバリーフェーズ

ISO 19650-3:2020 は、BIM を使用した情報マネジメント：資産の運用フェーズ

ISO 19650-5:2020 は、BIM を使用した情報マネジメント：情報マネジメントへのセキュリティを意識したアプローチ

※2:英国政府は 2016 年 4 月以降、建物やインフラストラクチャーを含む中央調達政府プロジェクトに入札する建設サプライヤーに対して、BIM レベル 2 で作業することを要求しています。英国では BIM の成熟度によって、レベル 0 からレベル 3 まで設定されています。

■大和ハウス工業 上席執行役員 建設デジタル推進担当 南川陽信のコメント

- BIM BSI Kitemark 認証取得の目的

大和ハウス工業では、2017年より全社でBIMに取り組み、建築系の設計部門においては、2021年3月までに完全BIMに移行できる見込みとなっています。しかし、日本では、BIMについて達成度程度の指標しかなく、具体的にBIMの内容を評価する指針がありませんでした。今回、BIMに関するISOが発行されたことで、弊社のBIMが、世界でも通用するものであることを確認するために、ISO 19650-1およびISO 19650-2の設計段階での認証取得に踏み切りました。

- BIM BSI Kitemark 構築による成果、工夫、苦労した点

苦労した点としては、ISO 19650-1 および ISO 19650-2 が、日本での設計・施工業務と少し異なる背景で作られたと思われる部分があり、規格に対しての解釈が難しかった点と、規格で必要とされる資料のひな形から手探りで作っていかねばならなかった点です。

しかし、解釈を進めていくと、この ISO 19650-1 および ISO 19650-2 の内容が、日本でも十分通用することがわかり、実務においてどのような形で利用すればよいかを考えていくことで、資料も問題なく作成することができました。

- 認証機関に BSI を選んでいただいた理由、また審査の感想

日本語で BIM の規格である ISO 19650-1 および ISO 19650-2 の審査を受けるには、BSI 以外に選択肢はありませんでした。審査員の方と日本語でコミュニケーションが図れ、審査においても適切な指摘を頂けることができ、今後の弊社の BIM 推進の参考にもなりました。

- 今後の活用について

日本で初の ISO 19650-1 および ISO 19650-2 の認証を受けた企業として、弊社の BIM の技術を用いて、よりお客様に満足度の高い建物造りを行ってまいります。

■BSI(英国規格協会)と BSI グループジャパン株式会社

BSI (British Standards Institution : 英国規格協会) は、1901 年の設立以来、世界初の国家規格協会として、また、ISO の設立メンバーとして活動する規格策定のプロフェッショナルです。現在、193 カ国で 84,000 組織以上のお客様の活動に貢献しています。

BSI グループジャパンは、1999 年に設立された BSI の日本法人です。マネジメントシステム、情報セキュリティサービス、医療機器の認証サービス、製品試験・製品認証サービス及びトレーニングコースの提供をメインとし、規格開発のサポートを含め規格に関する幅広いサービスを提供しています。

URL : <http://www.bsigroup.com/ja-JP/>

■大和ハウス工業株式会社について

大和ハウス工業は 1955 年、「建築の工業化」を企業理念に創業して以来、弊社は一貫して“多くの人の役に立ち、喜んでいただける商品開発やサービスの提供”に努め、世の中に必要とされる企業であることをすべての起点としてきました。これまで、戸建住宅をコア事業に、賃貸住宅、分譲マンション、商業施設、事業施設（物流施設、医療・介護施設等）など幅広い事業領域で活動しております。

URL : <https://www.daiwahouse.co.jp/index.html>

■お問い合わせ先

BSI グループジャパン株式会社(英国規格協会) 営業本部マーケティング部
神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-7-1 OCEAN GATE MINATO MIRAI 3 階
電話番号 : 045-414-3021
Email : Japan.Marketing@bsigroup.com

大和ハウス工業株式会社 広報企画室 東京広報グループ
東京都千代田区飯田橋 3-13-1
電話番号 : 03-5214-2112
Email : kuroshima@daiwahouse.jp



【認証式の様子】

左側 : 大和ハウス工業株式会社 上席執行役員 南川 陽信
右側 : BSI グループジャパン株式会社 代表取締役社長 根本 英雄